



大正7年の創業以来、

せつけん一筋の商いをしてきたエスケー石鹼株式会社。

競合企業が合成洗剤へ舵を切るなか

せつけんにこだわり続けるのは

「せつけんじやないといけない」という人が大勢いるから
と営業部・木曾基之氏は話す。

赤子の肌にも安心なものを。

環境に負担をかけないものを。

優しく暮らしを支えるものを。

そのモノづくりの根底にあるのは、

人々の健康に寄与したいというシンプルな願い。

「せつけんづくりは、枯れた技術かもしけない」

と謙遜しながらも

未来を見据える彼らの眼には、
老舗の誇りと、せつけんのような優しさが宿っている。



水をめぐる旅

サステイナブルなひと、
生活クラブ × 百藝

Art Transformation since 1971
Nihon University College of Art